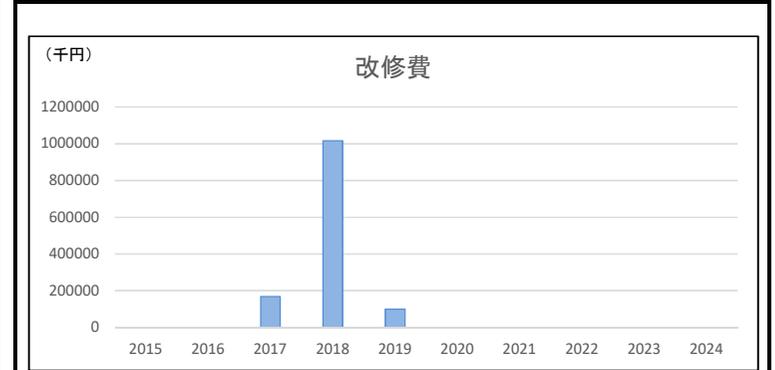


リストNo	16-001	施設コード	01105	
利用用途別分類(施設分類)	その他教育施設			
施設名	看護専門学校			
所在(町名・番地)	中央区佐鳴台五丁目108-1			
利用者の圏域別分類等	市域	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	学校	
主管課	健康福祉部看護専門学校			
所管課	健康福祉部看護専門学校			
設置根拠(法)	学校教育法(昭和22年法律第26号)第127条			
条例	浜松市立看護専門学校条例			
設置目的	地域に貢献できる有能な医療スタッフの養成を支援するための看護師養成施設の管理運営			
主な利用者	1学年定員70名、総人数210名			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	—			
土地情報	土地面積	3,954.88 m <sup>2</sup>	総延床面積	3,578.42 m <sup>2</sup>
	うち所有面積	3,954.88 m <sup>2</sup>	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造
	うち借地面積	0.00 m <sup>2</sup>	地上階数(主要建物)	3
立地適正化計画	代表地目(現況地目)	宅地	耐震性能(Ia値)(主要建物)	新
	用途地域	第一種中高層住居専用地域	耐震工事(主要建物)	-
	誘導施設		建築年月日(主要建物)	2019/2/25
防災情報	土砂災害警戒区域※		経過年数(主要建物)	6
	浸水エリアの場合の浸水深		身障者用駐車場	-
	洪水ハザードマップ※	1m～3m	車イスでの施設利用	-
	南海トラフ巨大地震津波※		エレベーター	-
特記事項	緊急避難場所		多機能トイレ	-
	避難所		太陽光発電	
※浜松市防災マップを基に表示。洪水ハザードマップの浸水深は想定最大規模を記載。				



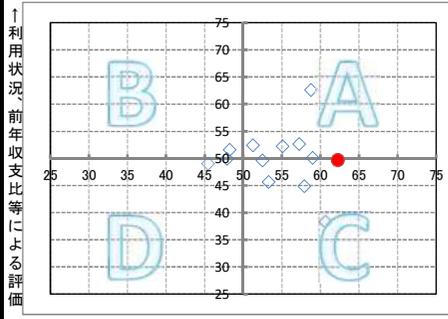
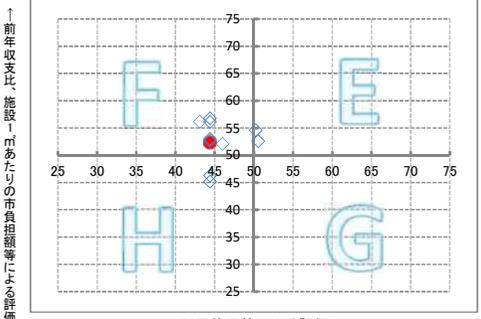
項目	2024	2023	2022	
収入(千円)				
使用料・手数料	34,432	36,840	37,105	
国県支出金	0	0	0	
その他収入	397	468	480	
収入計(A)	34,829	37,308	37,585	
支出(千円)				
人件費	166,600	163,200	171,000	
物件費(委託料)	9,631	10,083	9,372	
維持補修費(修繕費)	657	367	312	
物件費(光熱水費)	7,926	7,276	9,143	
物件費(借地料)	0	0	0	
支出計(B)	184,814	180,926	189,827	
行政コスト(B-A)	149,985	143,618	152,242	
収支前年比	104.43	94.34	102.44	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	17,842	17,842	17,842	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	307,325	702,746	0	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
	設置事業費	1,235,645	—	1,235,645
財源	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	1,000,000	—	1,000,000
	市債	—	—	—
	一般財源	235,645	—	235,645

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2019	平成30年度浜松市立看護専門学校旧校舎解体解体工事	100,013			
2018	浜松市立看護専門学校新築移転工事(機械設備工事)	253,701			
2018	浜松市立看護専門学校新築移転工事(電気設備工事)	126,861			
2018	浜松市立看護専門学校新築移転工事(建築工事)	636,312			
2017	浜松市立看護専門学校新築移転工事(建築工事)	168,131			



近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
その他の分類	22-001	浜松医療センター	広域 0.3
	04-031	蛸塚公園	文化財 0.4
	04-008	博物館	市域 0.4
	04-032	旧高山家住宅	文化財 0.4
	26-007	御前谷ポンプ場	— 0.7
	15-122	佐鳴台中学校	生活 0.8
	15-102	蛸塚中学校	生活 0.9
07-013	さなる放課後児童会	生活 0.9	

基本情報	リストNo	16-001	施設コード	01105	主管課	健康福祉部看護専門学校			
	施設名	看護専門学校			所管課	健康福祉部看護専門学校			
	複合施設								
施設運営分析	関連政策名	地域医療に貢献できる有能な看護師の養成							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		地域に貢献できる有能な医療スタッフの養成を支援するための看護師養成施設の管理運営							
		主な業務内容	看護師国家試験受験資格要件である課程3087時間の講義、演習、実習の実施						
		主な利用者	1学年定員70名、総人数210名						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	依然として看護師の必要人数は充足されていない						
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	看護師不足の解消には至っていないと思われる						
		特記事項	—						
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		学校管理運営事業 ・受験者数:2024年度154人、2023年度110人、2022年度107人 ・入学者数:2024年度68人、2023年度58人、2022年度61人 ・再就職、離職防止相談等:2024年度64人、2023年度42人、2022年度41人	2024	248,526	0	0			
			2023	247,877	—	—			
			2022	254,875	—	—			
			2024	—	—	—			
事業②		看護師就業促進事業 ・学校管理運営事業に統合	2023	244	—	—			
			2022	242	—	—			
			2024	—	—	—			
事業③		—	2023	0	0	0			
			2022	—	—	—			
	2024		—	—	—				
事業④	—	2023	0	0	0				
		2022	—	—	—				
		2024	—	—	—				
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—	
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—	
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—	
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—	
	施設定員数	210	210	210	クラス数	6	6	6	
					園児・児童・生徒数	193	185	203	
					項目	2024	2023	2022	
参考指標	行政コスト/面積(円)	41,914	40,134	42,544	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	714,214	683,895	724,962	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示							

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)	
 <p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>		 <p>利用状況等による評価→</p>	
<p>【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】</p> <p>A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い</p> <p>B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある</p> <p>C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある</p> <p>D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある</p>		<p>【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】</p> <p>E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い</p> <p>F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある</p> <p>G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある</p> <p>H:利用状況、財務状況全てに課題がある</p>	
施設に関する課題等(ハード面から)			
課題	平成31年の完成から、毎年多少の不具合は発生しているものの、その都度施工業者等へ連絡して対応している。今後も施工業者及び事業担当課と連携しながら施設の適切な維持管理に努めていく。		
対応策	—		
今後の方針			
見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止	—	—
	民間移管	—	—
	管理主体変更	—	—
	非保有	—	—
	統廃合	—	—
	複合化	—	—
	広域化	—	—
民活導入	学校教育法上、学校の管理運営は設置者が行うこととなっており民間導入は難しい。仮に民間の病院等に移管した場合、母体病院のための職員育成が根本となってしまうため、定員減は避けられない。当校の目的である地域の医療を担う人材育成の観点から、現在の定員の確保と公立学校としての運営が望ましい。		
個別方針	平成30年度に現在地へ移転新築した。旧校舎から敷地が半減したため、校舎棟を2階建てから3階建てにし、講堂と体育館を兼用するなど他の施設についても複数の機能を持たせ、限られたスペースの中で効率的に活用できる施設として運用していきたい。		



基本情報	リストNo	16-002	施設コード	05095	主管課	危機管理監危機管理課		
	施設名	防災学習センター			所管課	危機管理監危機管理課		
	複合施設							
施設運営分析	関連政策名	逃げ遅れゼロに向けた備えと避難行動の推進災害関連死ゼロに向けた避難生活環境の維持改善の推進						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		防災に関する知識の普及及び啓発の拠点施設として、多くの市民に防災の学習や体験の場を提供するとともに、次世代の担い手となる小・中学生の防災知識と意識の向上を図る。						
		主な業務内容	施設展示物の案内、防災関連講座、各種イベントの開催、貸館業務					
		主な利用者	小・中学校、防災活動団体、その他					
	設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		年間来場者数は年々上昇しており、社会ニーズは高まっている。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後、小・中学校を中心に安定した利用者の確保に努める					
	特記事項		—					
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況 のべ募集人員 参加者数	
事業①		小中学生向け学習講座 49回	2024	—	—	2,402		
			2023	—	—	2,568		
			2022	—	—	4,070		
事業②		一般向け学習講座 11回	2024	—	—	579		
			2023	—	—	442		
			2022	—	—	481		
事業③		一般向け体験講座 40回	2024	—	—	863		
			2023	—	—	790		
			2022	—	—	188		
事業④	イベント 3回	2024	—	—	781			
		2023	—	—	612			
		2022	—	—	298			
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	利用時間数(分)/年※	66,750	1,030	922	図書貸出冊数/年	—	—	—
	利用可能時間数(分)/年※	656,640	11,739	11,505	蔵書数	—	—	—
	施設利用者数/年	13,952	12,656	11,935	入居戸数	—	—	—
	開館日数/年	304	301	295	全戸数	—	—	—
	施設定員数	120	120	120	クラス数	—	—	—
					園児・児童・生徒数	—	—	—
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	行政コスト/面積(円)	19,037	17,412	16,788	1人当たりのコスト(円)	2,637	2,659	2,718
	施設利用率(%)	10.2	8.8	8.0	1開館日当たりのコスト(円)	121,016	111,787	109,973
	1日当たり利用者(人)	46	42	40	1定員当たりのコスト(円)	306,575	280,400	270,350
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示							

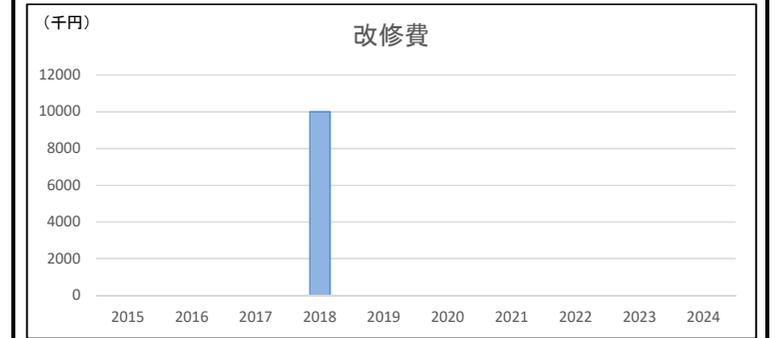
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)	
	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→</p> <p>※50が評価の平均で、●が当施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>		<p>利用状況等による評価→</p>
<p>【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】</p> <p>A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い                  B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある                  C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある                  D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある</p>			
<p>【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】</p> <p>E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い                  F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある                  G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある                  H:利用状況、財務状況全てに課題がある</p>			
施設に関する課題等(ハード面から)			
課題	講座・イベント時の駐車場や講座室の混雑		
対応策	・公共交通機関の利用促進 ・オンラインの併用		
今後の方針			
見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止	—	—
	民間移管	—	—
	管理主体変更	—	—
	非保有	—	—
	統廃合	—	—
	複合化	—	—
	広域化	—	—
民活導入	平成30年12月の開館と同時に指定管理者制度を導入している。令和4年度からの指定管理期間より利用料金制度を導入。		
個別方針	指定管理者による施設の効率的、効果的な活用に努める。ハードについては躯体に大きな影響を与えないよう迅速な修繕や予防保全に努める。		

リストNo	16-003	施設コード	01613	
利用用途別分類(施設分類)	その他教育施設			
施設名	青少年の家			
所在(町名・番地)	中央区住吉四丁目23-1			
利用者の圏域別分類等	市域	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
主管課	こども家庭部こども若者政策課			
所管課	こども家庭部こども若者政策課			
設置根拠(法)				
条例	浜松市立青少年の家条例			
設置目的	創造的な体験や交流活動の場を提供し、もって次代の社会を担う青少年の健全な育成を図る。(浜松市立青少年の家条例第1条)			
主な利用者	子ども会・ボーイスカウト・ガールスカウトなどの次世代育成団体、小・中学校、高等学校など			
運営形態	指定管理者			
指定管理または包括管理委託等の期間	2024/04/01 ~			
管理者名	遠鉄アシスト(株)			
開館時間	09:00~21:30			
土地情報	土地面積	10,597.23 m <sup>2</sup>	総延床面積	1,403.67 m <sup>2</sup>
	うち所有面積	10,333.23 m <sup>2</sup>	構造(主要建物)	鉄骨造
	うち借地面積	264.00 m <sup>2</sup>	地上階数(主要建物)	2
立地適正化計画	代表地目(現況地目)	山林	耐震性能(1e値)(主要建物)	新
	用途地域	第一種低層住居専用地域	耐震工事(主要建物)	-
	誘導施設		建築年月日(主要建物)	2010/1/27
防災情報	土砂災害警戒区域※		経過年数(主要建物)	15
	浸水エリアの場合の浸水深		身障者用駐車場	○
	洪水ハザードマップ※		車イスでの施設利用	○
	南海トラフ巨大地震津波※		エレベーター	○
	緊急避難場所		多機能トイレ	○
避難所		脱炭素	太陽光発電	
脱炭素		ZEBの種類		
特記事項	※浜松市防災マップを基に表示。洪水ハザードマップの浸水深は想定最大規模を記載。			



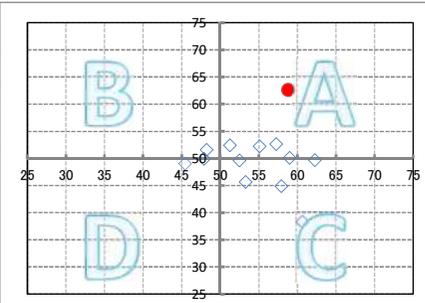
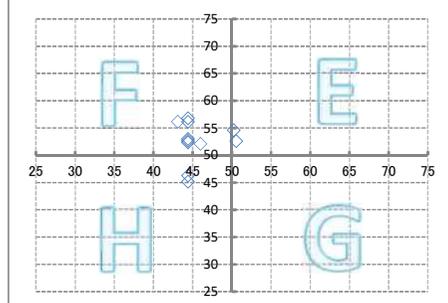
項目	2024	2023	2022	
収入(千円)	使用料・手数料	4,715	3,673	2,747
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	3,211	3,462	2,152
	収入計(A)	7,926	7,135	4,899
支出(千円)	人件費	30,354	29,274	29,263
	物件費(委託料)	4,436	4,669	4,811
	維持補修費(修繕費)	3,495	1,297	1,276
	物件費(光熱水費)	3,378	2,862	3,316
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	41,663	38,102	38,666	
行政コスト(B-A)	33,737	30,967	33,767	
収支前年比	108.95	91.71	102.73	
(参考)指定管理料	45,552	42,778	42,778	
(参考)減価償却費	8,328	8,328	8,328	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	285,517	152,078	0	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費	315,290	-	315,290	
財源	国・県	-	-	-
	寄付金	-	-	-
	その他	-	-	-
	市債	-	-	-
	一般財源	315,290	-	315,290

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2018	西側駐車場アスファルト舗装工事	9,990			
2009	改築事業(建築工事)	156,494			
2009	改築事業(機械設備工事)	69,825			
2009	改築工事(電気設備工事)	48,434			
2007	排水管撤去工事及び新排水設備設置工事	5,460			



近隣施設				
No	施設名	圏域種別	距離(km)	
16-002	防災学習センター	市域	1.5	
15-115	高台中学校	生活	0.4	
25-001	住吉庁舎	-	0.4	
01-007	計量検査所	市域	0.5	
03-084	金屋会館	コミュニティ	0.5	
14-035	浜松第9分団	コミュニティ	0.6	
13-016	住吉一丁目団地	地域	0.7	
13-017	住吉二丁目団地	地域	0.8	
07-022	城北第2放課後児童会	生活	0.8	

基本情報	リストNo	16-003	施設コード	01613	主管課	子ども家庭部子ども若者政策課		
	施設名	青少年の家	所管課	子ども家庭部子ども若者政策課				
施設運営分析	関連政策名	子ども・子育て当事者へのライフステージに応じた切れ目のない支援						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		創造的な体験や交流活動の場を提供し、もって次代の社会を担う青少年の健全な育成を図る。(浜松市立青少年の家条例第1条)						
		主な業務内容	自然体験活動・社会体験活動・スポーツ活動などの主催事業の実施、施設貸出業務など					
		主な利用者	子ども会・ボーイスカウト・ガールスカウトなどの次世代育成団体、小・中学校、高等学校など					
	設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		次世代育成団体を中心に一定の利用者があり需要は確保されている。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		少子化や核家族化、家族形態の多様化に伴う変化が予想される。					
	特記事項		「都市型野外体験宿泊研修施設」としての存在は貴重であり重要					
	主な事業	事業名・開催回数(2024)		年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		主催事業 ※年度により内容は異なる	2024	—	—	5,145		
			2023	—	—	4,605		
			2022	—	—	3,288		
			2024	—	—	42,026		
事業②		貸館業務(宿泊利用を含む)	2023	—	—	38,400		
			2022	—	—	33,624		
			2024	—	—	—		
事業③		—	2023	—	—	—		
			2022	—	—	—		
	2024		—	—	—			
事業④	—	2023	—	—	—			
		2022	—	—	—			
		2024	—	—	—			
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	利用時間数(分)/年※	973,500	9,883	14,247	図書貸出冊数/年	—	—	—
	利用可能時間数(分)/年※	3,025,800	81,704	41,930	蔵書数	—	—	—
	施設利用者数/年	42,026	38,400	33,624	入居戸数	—	—	—
	開館日数/年	318	318	319	全戸数	—	—	—
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—
					園児・児童・生徒数	—	—	—
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	行政コスト/面積(円)	24,035	22,061	24,056	1人当たりのコスト(円)	803	806	1,004
	施設利用率(%)	32.2	12.1	34.0	1開館日当たりのコスト(円)	106,091	97,381	105,853
	1日当たり利用者(人)	132	121	105	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示							

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)	
			
<p>建物の状況(耐震性・築年数等)による評価→</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>		<p>利用状況等による評価→</p>	
【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】		【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】	
A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い		E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い	
B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある		F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある	
C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある		G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある	
D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある		H:利用状況、財務状況全てに課題がある	
施設に関する課題等(ハード面から)			
課題	施設設備の劣化と敷地内の立木の管理。		
対応策	日常点検等を通じ、施設の劣化や立木の状況を把握するとともに、計画的な改修等により事故防止に努める。		
今後の方針			
見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止	—	—
	民間移管	—	—
	管理主体変更	—	—
	非保有	—	—
	統廃合	—	—
	複合化	—	—
	広域化	—	—
民活導入	2011年度から指定管理者制度を導入し、管理運営を行っている。		
個別方針	適切な維持管理に努める。		

リストNo	16-004	施設コード	04010	
利用用途別分類(施設分類)	その他教育施設			
施設名	外国人学習支援センター			
所在(町名・番地)	中央区雄踏町字布見9611-1			
利用者の圏域別分類等	市域	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
主管課	企画調整部国際課			
所管課	企画調整部国際課			
設置根拠(法)				
条例				
設置目的	外国人の子どもから大人までを対象とした総合的な学習支援の拠点として、日本語教室の開催をはじめ、日本語ボランティア養成講座、多文化体験講座等の各種講座を市民協働により実施する。			
主な利用者	外国人市民、日本人ボランティア			
運営形態	施設包括管理委託			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	-			
開館時間	09:00～17:00			
土地情報	土地面積	7,468.29 m <sup>2</sup>	総延床面積	2,525.55 m <sup>2</sup>
	うち所有面積	7,468.29 m <sup>2</sup>	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造
	うち借地面積	0.00 m <sup>2</sup>	地上階数(主要建物)	2
立地適正化計画	代表地目(現況地目)	宅地	耐震性能(1g値)(主要建物)	0.72
	用途地域	第二種住居地域	耐震工事(主要建物)	有
	誘導施設		建築年月日(主要建物)	1971/9/1
防災情報	土砂災害警戒区域※		経過年数(主要建物)	53
	浸水エリアの場合の浸水深		身障者用駐車場	○
	洪水ハザードマップ※		車イスでの施設利用	○
	南海トラフ巨大地震津波※		エレベーター	
特記事項	緊急避難場所		多機能トイレ	○
	避難所		太陽光発電	
※浜松市防災マップを基に表示。洪水ハザードマップの浸水深は想定最大規模を記載。				



項目		2024	2023	2022
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	4,246	4,419	4,396
	収入計(A)	4,246	4,419	4,396
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	66	66	53
	維持補修費(修繕費)	5,914	5,134	1,939
	物件費(光熱水費)	3,573	3,451	4,015
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	9,553	8,651	6,007	
行政コスト(B-A)	5,307	4,232	1,611	
収支前年比	125.40	262.69	117.25	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	0	0	0	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	361,306	0	0	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
	設置事業費	-	-	-
財源	国・県	-	-	-
	寄付金	-	-	-
	その他	-	-	-
	市債	-	-	-
	一般財源	-	-	-

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2024	照明器具LED化工事	18,480			
2022	外壁改修	27,784			
2022	屋外バス待合所解体工事	16,486			
2011	中庭整備・屋上防水改修工事	14,846			
2009	改修工事(建築工事)	84,639			
2009	改修工事(電気設備工事)	41,194			
2009	改修工事(機械設備工事)	36,764			
2009	耐震補強工事	14,743			



近隣施設				
No	施設名	圏域種別	距離(km)	
16-009	雄踏学校給食センター	地域	1.4	
18-013	旧雄踏総合事務所別館	地域	0.0	
05-037	雄踏グラウンドダックアウト	小規模等	0.1	
15-136	雄踏中学校	生活	0.2	
10-004	ふれあい交流センター湖南	地域	0.3	
13-034	領家団地	地域	0.4	
04-035	重要文化財中村家住宅	文化財	0.4	
06-010	雄踏図書館	地域	0.6	
15-079	雄踏小学校	生活	0.8	

基本情報	リストNo	16-004	施設コード	04010	主管課	企画調整部国際課			
	施設名	外国人学習支援センター			所管課	企画調整部国際課			
	複合施設								
施設運営分析	関連政策名	世界とのつながりと多様性を生かした都市の活性化							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		外国人の子どもから大人までを対象とした総合的な学習支援の拠点として、日本語教室の開催をはじめ、日本語ボランティア養成講座、多文化体験講座等の各種講座を市民協働により実施する。							
		主な業務内容	外国人学習支援センターの管理、日本語教室等の各種講座の運営(委託事業)						
		主な利用者	外国人市民、日本人ボランティア						
		設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				開設以来一定の利用者(延べ万人)があり需要は減少は見られない。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測				日本語教育関連の法律施行により、本施設のニーズは今後より高まっていくと予測される。				
	特記事項				居住者の定住化傾向がみられる。				
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		■事業名 日本語学習支援講座 ■開催実績 2022年度:390回、2023年度:412回、2024年度:391回			2024	7,724	—	5,051	
					2023	6,350	—	3,704	
					2022	5,361	—	3,564	
					2024	645	—	684	
事業②	■事業名 日本語学習等支援者養成講座 ■開催実績 2022年度:42回、2023年度:43回、2024年度:44回			2023	645	—	873		
				2022	645	—	787		
				2024	209	—	171		
事業③	■事業名 多文化理解・交流事業 ■開催実績 2022年度:4回、2023年度:4回、2024年度:4回			2023	209	—	109		
				2022	209	—	109		
				2024	0	—	0		
事業④	—			2023	0	—	0		
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—	
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—	
	施設利用者数/年	7,000	4,500	4,500	入居戸数	—	—	—	
	開館日数/年	244	244	243	全戸数	—	—	—	
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—	
					園児・児童・生徒数	—	—	—	
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	行政コスト/面積(円)	2,101	1,676	638	1人当たりのコスト(円)	758	940	358	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	21,750	17,344	6,630	
	1日当たり利用者(人)	29	18	19	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示								

品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
				<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>	<p>利用状況等による評価→</p>		
<p>【品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)】</p> <p>A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い                  B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある                  C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある                  D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある</p>				<p>【供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)】</p> <p>E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い                  F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある                  G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある                  H:利用状況、財務状況全てに課題がある</p>			
施設に関する課題等(ハード面から)							
課題	施設は築後50年経過し、今後は窓枠、受水槽タンク、排水管、ベランダ手すり等塗り替えなどの設備老朽化への対策が必要であると考える。						
対応策	現在は不具合が生じた箇所を修繕するとともに、老朽化の懸念箇所については状況を見つつ計画的に管理していく。また、令和4年度実施の建築設備劣化度調査の結果を踏まえ、設備工事の設計、監理を所管する公共建築課と施設状況を共有し、修繕の検討をしていく。						
今後の方針							
見直し方針	方向性	該当	備考欄				
	廃止	—					
	民間移管	—					
	管理主体変更	—					
	非保有	—					
	統廃合	—					
	複合化	○					
	広域化	—					
民活導入	平成30年度から施設管理を民間事業者に委託済。						
個別方針	当面適切な維持管理に努めつつ、1階部分について効率的な施設運営を進める。						

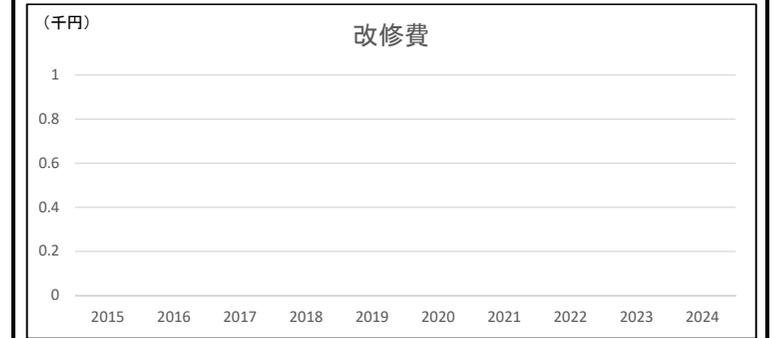
リストNo	16-005	施設コード	01990		
利用用途別分類(施設分類)	その他教育施設				
施設名	教育センター				
所在(町名・番地)	中央区東三方町143-4				
利用者の圏域別分類等	市域	非中山間地域			
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設		
主管課	学校教育部教育センター				
所管課	学校教育部教育センター				
設置根拠(法)	教育公務員特例法第21条第2項				
条例	浜松市教育センター条例				
設置目的	「浜松市の目指す教育の姿」における「目指す子供の姿」実現のため、「目指す教職員の姿」である「子供の自分らしさを受け止める教職員」「愛情と情熱、規範意識を持ち続ける教職員」「専門性と指導力を磨き続ける教職員」の育成を図る。				
主な利用者	市内の幼稚園・小中学校・高等学校の教職員、社会教育諸団体等				
運営形態	直営				
指定管理または包括管理委託等の期間	～				
管理者名	—				
開館時間	09:00～17:30				
土地情報	土地面積	4,448.96 m <sup>2</sup>	総延床面積	990.00 m <sup>2</sup>	
	うち所有面積	4,448.96 m <sup>2</sup>	構造(主要建物)	鉄骨造	
	うち借地面積	0.00 m <sup>2</sup>	地上階数(主要建物)	2	
立地適正化計画	代表地目(現況地目)	宅地	建物情報	耐震性能(1g値)(主要建物)	新
	用途地域	市街化調整区域	耐震工事(主要建物)	-	
	誘導施設		建築年月日(主要建物)	2015/3/20	
防災情報	土砂災害警戒区域※		経過年数(主要建物)	10	
	浸水エリアの場合の浸水深		身障者用駐車場	○	
	洪水ハザードマップ※		車イスでの施設利用	○	
	南海トラフ巨大地震津波※		エレベーター	○	
特記事項	緊急避難場所		多機能トイレ	○	
	避難所		太陽光発電		
		脱炭素	ZEBの種類		

※浜松市防災マップを基に表示。洪水ハザードマップの浸水深は想定最大規模を記載。  
 ・2024.4.1組織改正により、指導課から教育指導業務が移管された。職員数が増加したことにより、貸し部屋や研修準備・自己研修等だけでなく、他課職員等と打ち合わせも増え、施設利用者数が増加した。  
 ・貸し部屋(部屋別の利用状況)の状況については、分単位ではなく、半日利用を1コマとして、利用可能コマ数と利用コマ数で表記した。



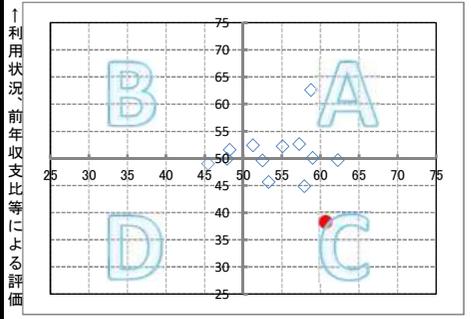
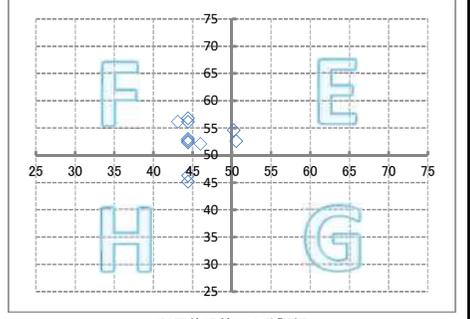
項目	2024	2023	2022	
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	4	5	4
	収入計(A)	4	5	4
支出(千円)	人件費	177,000	104,200	103,600
	物件費(委託料)	2,788	2,423	2,488
	維持補修費(修繕費)	860	332	1,368
	物件費(光熱水費)	1,733	1,331	1,646
	物件費(借地利)	0	0	0
支出計(B)	182,381	108,286	109,102	
行政コスト(B-A)	182,377	108,281	109,098	
収支前年比	168.43	99.25	97.55	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	5,892	5,892	5,892	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	40,528	159,298	0	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
	設置事業費	312,090	40,528	352,618
財源	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	286,679	38,421	325,100
一般財源	25,411	2,107	27,518	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2014	移転新築工事(建築工事)	218,215			
2014	移転新築工事(機械設備工事)	52,069			
2014	移転新築工事(電気設備工事)	31,482			

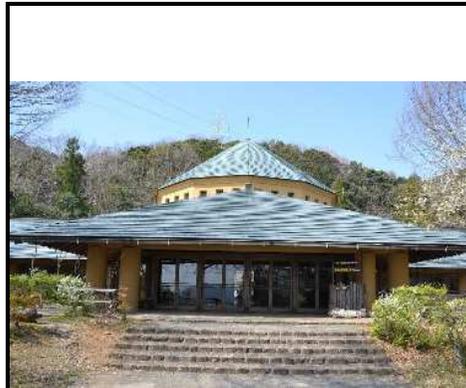


近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
08-018	三方原保育園	生活	0.4
01-015	中央土木整備事務所(三方原)	地域	0.5
14-007	中消防署曳馬野出張所	地域	0.6
03-052	三方原協働センター	生活	0.8
13-042	豊岡団地	地域	0.9
07-061	とよおか放課後児童会	生活	0.9
15-030	豊岡小学校	生活	1.0
08-030	豊岡幼稚園	生活	1.0

基本情報	リストNo	16-005	施設コード	01990	主管課	学校教育部教育センター		
	施設名	教育センター	所管課	学校教育部教育センター				
	複合施設							
施設運営分析	関連政策名	「はままつの先生」の魅力と資質能力の向上						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		「浜松市の目指す教育の姿」における「目指す子供の姿」実現のため、「目指す教職員の姿」である「子供の自分らしさを受け止める教職員」「愛情と情熱、規範意識を持ち続ける教職員」「専門性と指導力を磨き続ける教職員」の育成を図る。						
		主な業務内容	教職員研修業務、教育指導業務、教科書センター業務、貸館業務					
		主な利用者	市内の幼稚園・小中学校・高等学校の教職員、社会教育諸団体等					
	設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		年間計画を立て通年で教職員研修を実施している。また、貸館も一定の利用団体等の需要がある。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		教職員の資質の向上を図るための研修施設であり、今後も不可欠である。					
	特記事項		—					
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		教職員研修事業			2024	9,771	13,980	13,667
		※2024年度のべ募集人員 研修開催通知における参加者総数			2023	8,801	14,513	13,443
		2022・2023年度のべ募集人員 年間研修計画による予定参加者総数			2022	9,051	15,242	14,777
		※参加者数の欄は、研修に出席したのべ参加者総数						
事業②		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
事業③		—			2023	0	0	0
	—			2022	—	—	—	
	—			2024	0	0	0	
	—			2023	0	0	0	
事業④	—			2022	—	—	—	
	—			2024	0	0	0	
	—			2023	0	0	0	
	—			2022	—	—	—	
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	利用時間数(分)/年※	1,760	1,234	1,126	図書貸出冊数/年	—	—	—
	利用可能時間数(分)/年※	3,780	3,794	3,766	蔵書数	—	—	—
	施設利用者数/年	12,054	10,768	10,086	入居戸数	—	—	—
	開館日数/年	270	271	269	全戸数	—	—	—
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—
					園児・児童・生徒数	—	—	—
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	行政コスト/面積(円)	184,219	109,375	110,200	1人当たりのコスト(円)	15,130	10,056	10,817
	施設利用率(%)	46.6	32.5	29.9	1開館日当たりのコスト(円)	675,470	399,561	405,569
	1日当たり利用者(人)	45	40	37	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
備考	※貸し部屋(部屋別の利用状況)の状況については、分単位ではなく、半日利用を1コマとして、利用可能コマ数と利用コマ数で表記した。							

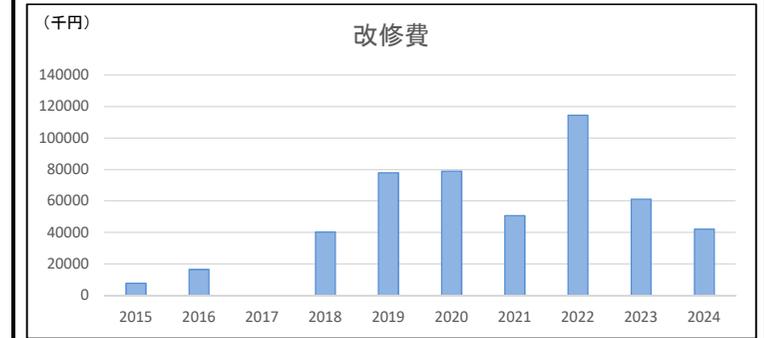
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)	
			
<p>↑利用状況、前年収支比等による評価</p> <p>↓前年収支比、施設1人当たりの市食担額等による評価</p> <p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>		<p>利用状況等による評価→</p>	
<p>【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】</p> <p>A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い</p> <p>B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある</p> <p>C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある</p> <p>D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある</p>		<p>【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】</p> <p>E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い</p> <p>F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある</p> <p>G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある</p> <p>H:利用状況、財務状況全てに課題がある</p>	
施設に関する課題等(ハード面から)			
課題	移転新築後10年が経過し、修繕が必要な箇所が発生している。駐車場の台数(枠内108台)が限られているため、大人数での研修や貸館等で混雑する場合、駐車可能台数を超過することがある。		
対応策	公共建築課の施設パトロールの結果も参考にしながら、定期的にメンテナンスを行い、必要な修繕を計画的に行っていく。駐車台数が不足する場合、隣接する(公財)浜松市教育会館の駐車場が使用可能な場合に限り借用する。		
今後の方針			
見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止	—	—
	民間移管	—	—
	管理主体変更	—	—
	非保有	—	—
	統廃合	—	—
見直し方針	複合化	○	優先的に使用できる大人数(160人超)受入可能な研修会場や駐車場の確保が必須
	広域化	—	—
民活導入	浜松市教職員のための研修拠点施設であり、研修業務や教育指導業務を担当する指導主事、施設管理業務等を担当する事務職員が常駐し、お互いに連携し業務を進めることで、事業運営や研修受講者等に対して、迅速、適正かつ合理的な対応を可能としているため、民間活力の導入については難しいと考える。		
個別方針	組織改編に伴って職員数が増加したため、効率的な事務スペース配置について検討を進めていく。北遠地区から研修に参加する教職員の移動時間が短縮されるなど、教職員の利便性向上につながる立地であるが、教育委員会事務局から離れているため、事務局各課との連絡調整には、オンラインを積極的に活用していく。		

リストNo	16-006	施設コード	00051		
利用用途別分類(施設分類)	その他教育施設				
施設名	かわな野外活動センター				
所在(町名・番地)	浜名区引佐町川名455-5				
利用者の圏域別分類等	市域	中山間地域			
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設		
主管課	学校教育部指導課				
所管課	学校教育部指導課				
設置根拠(法)					
条例	浜松市かわな野外活動センター条例				
設置目的	自然の中での共同生活を通じて青少年の健全な育成を図るとともに、市民の健康の増進を図るために設置している。(浜松市かわな野外活動センター条例第1条)				
主な利用者	小中学校の児童生徒、一般団体等				
運営形態	指定管理者				
指定管理または包括管理委託等の期間	2025/04/01 ~				
管理者名	(公財)浜松市スポーツ協会				
開館時間	09:00~21:00				
土地情報	土地面積	281,855.47 m <sup>2</sup>	総延床面積	7,182.52 m <sup>2</sup>	
	うち所有面積	2,662.15 m <sup>2</sup>	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	うち借地面積	279,193.32 m <sup>2</sup>	地上階数(主要建物)	1	
立地適正化計画	代表地目(現況地目)	宅地	建物情報	耐震性能(1a値)(主要建物)	新
	用途地域	都市計画区域外	耐震工事(主要建物)	-	
	誘導施設		建築年月日(主要建物)	1989/3/27	
防災情報	土砂災害警戒区域※	○	UD化情報	経過年数(主要建物)	36
	浸水エリアの場合の浸水深		身障者用駐車場		
	洪水ハザードマップ※		車イスでの施設利用		
	南海トラフ巨大地震津波※		エレベーター		
緊急避難場所		多機能トイレ	○		
避難所		太陽光発電			
		ZEBの種類			
特記事項	※浜松市防災マップを基に表示。洪水ハザードマップの浸水深は想定最大規模を記載。R5年5月に新型コロナウイルス感染症が「5類」に移行されたことから、R6年度の受け入れはコロナ禍前の通常体制となった。よって泊床の宿泊定数も180人から250人を目安とし、2泊3日まで宿泊可能として運営した。				



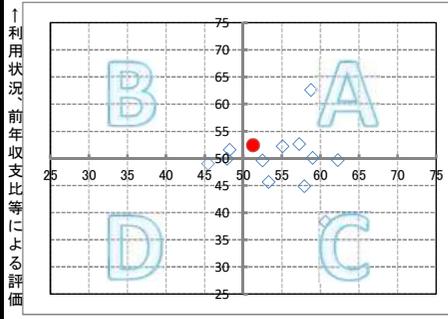
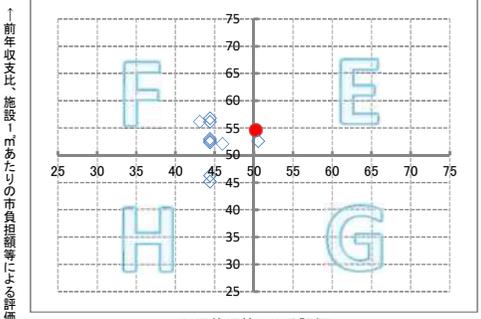
項目	2024	2023	2022	
収入(千円)	使用料・手数料	2,278	2,166	1,827
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	4,136	3,541	3,374
	収入計(A)	6,414	5,707	5,201
	人件費	55,106	54,079	58,060
支出(千円)	物件費(委託料)	11,796	6,019	5,925
	維持補修費(修繕費)	5,205	7,285	6,608
	物件費(光熱水費)	5,884	5,216	6,958
	物件費(借地利)	8,987	8,987	8,987
	支出計(B)	86,978	81,586	86,538
行政コスト(B-A)	80,564	75,879	81,337	
収支前年比	106.17	93.29	108.87	
(参考)指定管理料	99,884	100,004	99,884	
(参考)減価償却費	29,050	29,080	29,870	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	29,263	269,756	0	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費	-	-	-	
財源	国・県	-	-	-
	寄付金	-	-	-
	その他	-	-	-
	市債	-	-	-
	一般財源	-	-	-

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2024	電灯分電盤及び動力分電盤改修工事	42,180	2021	本館棟浴室循環ろ過設備更新工事	14,102
	2023	外壁改修工事	37,274	2020	受水槽(90t)自動滅菌装置更新工事	4,950
	2023	屋根防水工事	16,030	2020	本館空調設備改修工事	24,200
	2023	外灯設備更新工事	7,818	2020	屋外給水配管更新工事	44,000
	2022	外壁改修	37,970	2020	汚水処理槽No.1(キャンパ機系統)ろ過機改修工事	5,775
	2022	厨房設備更新工事	34,100	2019	LED照明更新工事	3,795
	2022	外灯設備更新工事	31,240	2019	受変電設備更新工事	73,975
	2022	屋根防水工事	8,228	2018	多目的便所他改修工事	11,929
	2022	屋内消火栓ポンプ更新工事	2,970	2018	自動火災報知設備及び放送設備更新工事	8,915
	2021	本館系統屋外給水配管更新工事	36,630	2018	非常用発電機更新工事	12,744



近隣施設					
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)	
	その他の分類	18-004	旧川名幼稚園	地域	1.1
		14-072	引佐第三分団川名	コミュニティ	1.2
25-014		引佐中継ポンプ場	-	1.7	

基本情報	リストNo	16-006	施設コード	00051	主管課	学校教育部指導課			
	施設名	かわな野外活動センター			所管課	学校教育部指導課			
	複合施設								
施設運営分析	関連政策名	安全・安心に学べるより良い教育環境の整備							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		自然の中での共同生活を通じて青少年の健全な育成を図るとともに、市民の健康の増進を図るために設置している。(浜松市かわな野外活動センター条例第1条)							
		主な業務内容	貸館業務、自然体験活動プログラム全般の指導等						
		主な利用者	小中学校の児童生徒、一般団体等						
	設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		学校行事を中心に一定の利用者があり需要は確保されている。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		少子化により利用者が減少する可能性はあるが小中学校を中心にニーズは高い						
	特記事項		全体の約8割が園・学校による利用						
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		—		2024	—	—	—	—	
		—		2023	—	—	—	—	
		—		2022	—	—	—	—	
		—		2024	—	—	—	—	
事業②		—		2023	—	—	—	—	
		—		2022	—	—	—	—	
		—		2024	—	—	—	—	
事業③		—		2023	—	—	—	—	
		—		2022	—	—	—	—	
		—		2024	—	—	—	—	
事業④		—		2023	—	—	—	—	
		—		2022	—	—	—	—	
		—		2024	—	—	—	—	
利用状況		項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
		利用時間数(分)/年※	311	310	285	図書貸出冊数/年	—	—	—
	利用可能時間数(分)/年※	1,190	1,335	1,180	蔵書数	—	—	—	
	施設利用者数/年	21,273	21,730	19,818	入居戸数	—	—	—	
	開館日数/年	327	332	331	全戸数	—	—	—	
	施設定員数	250	—	—	クラス数	—	—	—	
					園児・児童・生徒数	—	—	—	
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	行政コスト/面積(円)	11,217	10,564	11,324	1人当たりのコスト(円)	3,787	3,492	4,104	
	施設利用率(%)	26.1	23.2	24.2	1開館日当たりのコスト(円)	246,373	228,551	245,731	
	1日当たり利用者(人)	65	65	60	1定員当たりのコスト(円)	322,256	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
備考	※時間数(分)は泊数にて表示								

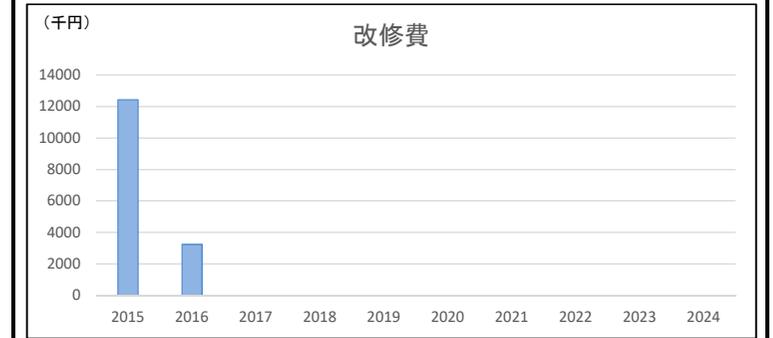
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)	
 <p>↑利用状況、前年収支比率等による評価</p> <p>→前年収支比率、施設1あたりの市食費総額等による評価</p> <p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>		 <p>供給状況等による評価→</p>	
<p>【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】</p> <p>A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い</p> <p>B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある</p> <p>C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある</p> <p>D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある</p>			
<p>【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】</p> <p>E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い</p> <p>F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある</p> <p>G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある</p> <p>H:利用状況、財務状況全てに課題がある</p>			
施設に関する課題等(ハード面から)			
課題	舎営施設は平成元年度竣工から30年以上が経過し、建物や設備の老朽化が進んでいる。学校教育の場として小・中学校の利用が主であることから、安心・安全な施設整備に努めており、今後も計画的な維持管理を進めていかなければならない。また全国的にクマ出没が続き市内でも天竜区や浜名区で目撃情報が相次いでいることから対策が必要になっている。		
対応策	施設利用や運営に支障が出ないよう老朽化した施設設備等の更新を短期及び中期修繕計画に沿って計画的に進めていく。また、クマに特化した対策マニュアルを追加作成するなどソフト面の対策を進めていく。		
今後の方針			
見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止	—	—
	民間移管	—	—
	管理主体変更	—	—
	非保有	—	—
	統廃合	—	—
	複合化	—	—
	広域化	—	—
民活導入	平成18年度から指定管理者制度を導入し、管理運営を行っている。		
個別方針	当面は適切な維持管理に努めるとともに、近隣の同種施設との役割分担などを明確にしたうえで施設のあり方を検討する。また、施設の魅力化向上、利用者増加のため、設備の適切な更新、指定管理者による自主事業の見直し等を実施していく。		

リストNo	16-007	施設コード	01985		
利用用途別分類(施設分類)	その他教育施設				
施設名	天竜自然体験センター湖畔の家				
所在(町名・番地)	天竜区月963-1				
利用者の圏域別分類等	市域	中山間地域			
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設		
主管課	こども家庭部こども若者政策課				
所管課	天竜区・まちづくり推進課				
設置根拠(法)					
条例	浜松市立天竜自然体験センター条例				
設置目的	船ダム湖と周辺の森林を活用し、児童及び生徒の宿泊訓練並びに各種団体等の研修を通じて青少年の健全育成及び生涯学習の推進を図る。				
主な利用者	小・中学校、高等学校の児童・生徒等、隣接する天竜ポート場の利用者等				
運営形態	指定管理者				
指定管理または包括管理委託等の期間	2024/04/01 ~				
管理者名	(株)杉の里・有限会社天龍遊船共同事業体				
開館時間	09:00~21:00				
土地情報	土地面積	6,876.96 m <sup>2</sup>	総延床面積	1,337.03 m <sup>2</sup>	
	うち所有面積	5,019.82 m <sup>2</sup>	構造(主要建物)	木造	
	うち借地面積	1,857.14 m <sup>2</sup>	地上階数(主要建物)	2	
代表地目(現況地目)	宅地		耐震性能(Ia値)(主要建物)	新	
用途地域	都市計画区域外		耐震工事(主要建物)	-	
立地適正化計画	誘導施設			建築年月日(主要建物)	1990/10/1
	都市機能誘導区域	-		経過年数(主要建物)	34
	居住誘導区域	-			
防災情報	土砂災害警戒区域※	○		身障者用駐車場	
	浸水エリアの場合の浸水深			車イスでの施設利用	
	洪水ハザードマップ※			エレベーター	
	南海トラフ巨大地震津波※			多機能トイレ	○
緊急避難場所			脱炭素	太陽光発電	
避難所				ZEBの種類	
特記事項	※浜松市防災マップを基に表示。洪水ハザードマップの浸水深は想定最大規模を記載。				



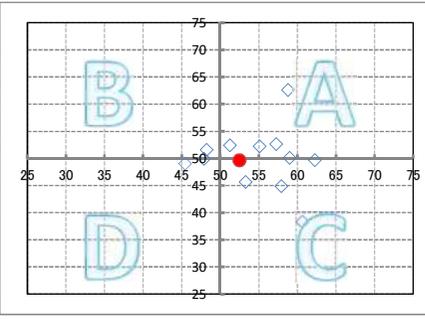
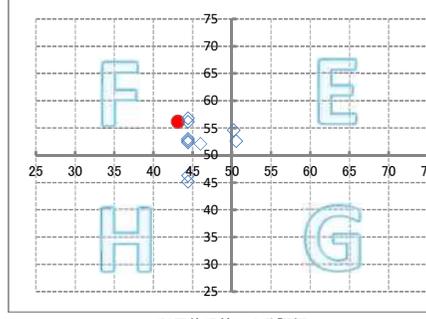
項目		2024	2023	2022
収入(千円)	使用料・手数料	5,209	4,801	3,987
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	8,564	8,040	5,880
	収入計(A)	13,773	12,841	9,867
支出(千円)	人件費	9,890	9,398	8,189
	物件費(委託料)	2,483	2,360	2,664
	維持補修費(修繕費)	633	874	545
	物件費(光熱水費)	2,749	2,585	2,514
	物件費(借地料)	674	674	674
	支出計(B)	16,429	15,891	14,586
	行政コスト(B-A)	2,656	3,050	4,719
	収支前年比	87.08	64.63	91.47
	(参考)指定管理料	10,308	9,494	9,342
	(参考)減価償却費	0	0	0
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	30,449	0	0	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費	380,419	5,433	385,852	
財源	国・県	50,000	-	50,000
	寄付金	-	-	-
	その他	-	-	-
	市債	233,300	-	233,300
	一般財源	97,119	5,433	102,552

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2016	宿泊棟女子トイレ改修工事	3,240			
2015	浴槽循環ろ過機等改修工事	12,420			
2008	トイレ改修工事	3,465			
2007	給湯ボイラー及び食堂棟空調設備取替工事	7,214			



近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
05-029	天竜林業体育館	地域	0.1
05-028	天竜ポート場艇庫	地域	0.1
25-024	旧月簡易水道	-	0.3
04-026	相津マリーナ	地域	0.9
14-099	天竜第7分団相津	コミュニティ	0.9
05-030	伊砂ポートパーク艇庫	地域	1.5

基本情報	リストNo	16-007	施設コード	01985	主管課	こども家庭部こども若者政策課		
	施設名	天竜自然体験センター湖畔の家			所管課	天竜区・まちづくり推進課		
	複合施設							
施設運営分析	関連政策名	若者の成長や自立を支える環境づくりの推進						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		船明ダム湖と周辺の森林を活用し、児童及び生徒の宿泊訓練並びに各種団体等の研修を通じて青少年の健全育成及び生涯学習の推進を図る。						
		主な業務内容	宿泊訓練や研修機会の提供、宿泊受入					
		主な利用者	小・中学校、高等学校の児童・生徒等、隣接する天竜ポート場の利用者等					
	設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		利用者数は減少しているものの、一定の需要は確保されている。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		少子化が進んでおり、ニーズが変化する可能性がある。					
	特記事項		隣接する天竜ポート場の一体的な利活用					
	主な事業	事業名・開催回数(2024)		年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		宿泊業務(参加者数を宿泊者数として記載)	2024	0	0	3,413		
			2023	0	0	3,133		
			2022	—	—	2,150		
			2024	0	0	0		
事業②		—	2023	0	0	0		
			2022	—	—	—		
事業③		—	2024	0	0	0		
			2023	0	0	0		
事業④		—	2022	—	—	—		
	2024		0	0	0			
		2023	0	0	0			
		2022	—	—	—			
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	利用時間数(分)/年※	1,362,270	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—
	利用可能時間数(分)/年※	3,826,080	—	—	蔵書数	—	—	—
	施設利用者数/年	3,413	3,133	2,195	入居戸数	—	—	—
	開館日数/年	312	315	319	全戸数	—	—	—
	施設定員数	100	100	100	クラス数	—	—	—
					園児・児童・生徒数	—	—	—
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	行政コスト/面積(円)	1,986	2,281	3,529	1人当たりのコスト(円)	778	974	2,150
	施設利用率(%)	35.6	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	8,513	9,683	14,793
	1日当たり利用者(人)	11	10	7	1定員当たりのコスト(円)	26,560	30,500	47,190
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示							

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)	↑利用状況、前年収支比率等による評価		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)	↑前年収支比率、施設1人当たりの市食振替額等による評価	
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→			利用状況等による評価→	
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					
【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】					
A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い					
B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある					
C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある					
D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある					
【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】					
E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い					
F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある					
G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある					
H:利用状況、財務状況全てに課題がある					
施設に関する課題等(ハード面から)					
課題	宿泊を主な業務としているため、入浴や食事提供など、利用者の衛生面に直結する施設特性があり、一定水準の衛生環境と安全性を確保する必要がある。また、施設建設(平成2年)から30年以上経過し、建物内の老朽化が進んでいる一方で、建設当時に比べて、利用者が宿泊施設に求めるニーズは高くなっており、これに対応する必要がある。				
対応策	指定管理者の定期的な施設・備品等の点検の結果等に加え、利用者の声を参考に改修や修繕が必要な箇所を把握し、優先順位を定めて計画的な改修を進める。また、施設内の設備や機器などについても、耐用年数やこれまでの更新実績などを考慮し、故障などによる改修と併せて計画的に更新を進める。				
今後の方針					
見直し方針	方向性	該当	備考欄		
	廃止	—	—		
	民間移管	—	—		
	管理主体変更	—	—		
	非保有	—	—		
	統廃合	—	—		
	複合化	—	—		
	広域化	—	—		
民活導入	平成17年度から指定管理者制度を導入し、運営している。				
個別方針	当面適切な維持管理に努める。船明ダム周辺の施設と一体的に更なる施設の有効活用を図っていく。				



基本情報	リストNo	16-008	施設コード	05800	主管課	学校教育部教育支援課			
	施設名	ほっとエリア阿多古活動拠点施設			所管課	学校教育部教育支援課			
施設運営分析	複合施設								
	関連政策名	多様なニーズに対応した学びや支援の充実							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		不登校児童生徒を支援するため、校外まなびの教室として利用するとともに、自然とのふれあいや地域の人々との交流活動を行う場としている。							
		主な業務内容	学習支援、社会自立に向けた支援、自然体験活動プログラム						
		主な利用者	小中学校の児童生徒、保護者						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用者があり需要は確保されている。						
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	不登校児童生徒の支援のためニーズは続く						
		特記事項	公共交通機関(バス)の不足						
主な事業	事業名・開催回数(2024)				年度	事業費(千円)	実施状況		
	事業①	チャレンジ教室 田植え	2024	—	—	131			
			2023	—	—	113			
			2022	—	—	112			
	事業②	チャレンジ教室 川遊び	2024	—	—	165			
			2023	—	—	123			
			2022	—	—	129			
	事業③	チャレンジ教室 稲刈り	2024	—	—	121			
			2023	—	—	146			
			2022	—	—	130			
事業④	校外まなびの教室	2024	—	—	—				
		2023	—	—	—				
		2022	—	—	—				
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—	
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—	
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—	
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—	
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—	
					園児・児童・生徒数	—	—	—	
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	行政コスト/面積(円)	1,324	872	949	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示								

品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→ ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。	
			品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)
供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)による評価→	
【品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)】 A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある			
【供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)】 E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある H:利用状況、財務状況全てに課題がある			
施設に関する課題等(ハード面から)			
課題	建物、設備の老朽化が進んでいるため、毎年修繕の必要がある。		
対応策	施設利用、運営に支障がないように修繕していく。		
今後の方針			
見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止	—	—
	民間移管	—	—
	管理主体変更	—	—
	非保有	—	—
	統廃合	—	—
	複合化	—	—
	広域化	—	—
民活導入	校外まなびの教室(チャレンジ教室含む)の運営は業務委託で実施している。		
個別方針	・当面適切な維持管理に努める。大規模な修繕等が必要となった時点で、利用状況を踏まえ、他の施設等への移転も含め検討する。 ・2025年度より、併設の旧校舎部分を活用して民間事業者(ホテル業)が営業しており、教室運営に支障がでないよう協議している。		

リストNo	16-009	施設コード	02746		
利用用途別分類(施設分類)	その他教育施設				
施設名	雄踏学校給食センター				
所在(町名・番地)	中央区雄踏町字布見725				
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域			
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設		
主管課	学校教育部健康安全課				
所管課	学校教育部健康安全課				
設置根拠(法)	地方教育行政の組織及び運営に関する法律、学校給食法				
条例	浜松市立学校給食センター条例				
設置目的	地方教育行政の組織及び運営に関する法律30条の規定に基づき、市立の学校において実施する学校給食の業務を一括して処理するため設置するもの				
主な利用者	栄養士、調理・配送業務受託業者				
運営形態	直営				
指定管理または包括管理委託等の期間	～				
管理者名	—				
開館時間	—				
土地情報	土地面積	2,505.00 m <sup>2</sup>	総延床面積	1,061.28 m <sup>2</sup>	
	うち所有面積	2,505.00 m <sup>2</sup>	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート一部鉄骨造	
	うち借地面積	0.00 m <sup>2</sup>	地上階数(主要建物)	2	
代表地目(現況地目)	宅地		建物情報	耐震性能(I <sub>0</sub> 値)(主要建物)	1.13
用途地域	市街化調整区域		耐震工事(主要建物)	有	
立地適正化計画	誘導施設		建築年月日(主要建物)	1977/2/1	
	都市機能誘導区域	-	経過年数(主要建物)	48	
	居住誘導区域	-			
防災情報	土砂災害警戒区域※		身障者用駐車場	-	
	浸水エリアの場合の浸水深		車イスでの施設利用	-	
	洪水ハザードマップ※		エレベーター	-	
	南海トラフ巨大地震津波※		多機能トイレ	-	
緊急避難場所		脱炭素	太陽光発電		
避難所			ZEBの種類		
特記事項	※浜松市防災マップを基に表示。洪水ハザードマップの浸水深は想定最大規模を記載。				



項目		2024	2023	2022
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	8	20	20
	収入計(A)	8	20	20
支出(千円)	人件費	9,800	9,800	9,800
	物件費(委託料)	10,409	10,256	10,140
	維持補修費(修繕費)	2,926	1,814	755
	物件費(光熱水費)	16,331	15,696	16,907
	物件費(借地利)	0	0	0
支出計(B)	39,466	37,566	37,602	
行政コスト(B-A)	39,458	37,546	37,582	
収支前年比	105.09	99.90	-73.52	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	310	310	310	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	121,189	366	0	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費	241,810	—	241,810	
財源	国・県	23,141	—	23,141
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
	一般財源	218,669	—	218,669

年度	内容	金額(千円)		
		年度	内容	金額(千円)
2014	改修工事(厨房設備工事)	150,260		
2014	改修工事(機械設備工事)	142,237		
2014	改修工事(建築工事)	90,385		
2014	改修工事(電気設備工事)	53,790		
2012	ボイラ更新工事	10,185		
2012	給食センター屋根改修工事	6,353		
2011	調理場棟耐震補強工事(建築工事)	32,631		
2011	調理場棟耐震補強工事(機械設備工事)	25,935		



近隣施設				
No	施設名	圏域種別	距離(km)	
16-004	外国人学習支援センター	市域	1.4	
13-033	田端団地	地域	0.3	
08-016	雄踏保育園	生活	0.4	
21-002	雄踏斎場	地域	0.5	
03-012	雄踏文化センター	地域	0.6	
10-007	ふれあい交流センターつつじ	地域	0.7	
07-049	雄踏なかよし第1放課後児童会	生活	0.8	
15-079	雄踏小学校	生活	0.8	
08-045	雄踏幼稚園	生活	0.9	

基本情報	リストNo	16-009	施設コード	02746	主管課	学校教育部健康安全課			
	施設名	雄踏学校給食センター			所管課	学校教育部健康安全課			
	複合施設								
施設運営分析	関連政策名	安全・安心に学べるより良い教育環境の整備							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		地方教育行政の組織及び運営に関する法律30条の規定に基づき、市立の学校において実施する学校給食の業務を一括して処理するため設置するもの							
		主な業務内容	学校給食調理・配送業務						
		主な利用者	栄養士、調理・配送業務受託業者						
		設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		受配校の児童・生徒数が減少傾向にある。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		新たな受配校取り込み						
	特記事項		今後の新たな受配校取り込みによる稼働効率の維持						
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①				2024	—	—	—		
				2023	—	—	—		
				2022	—	—	—		
事業②				2024	—	—	—		
				2023	—	—	—		
				2022	—	—	—		
事業③				2024	—	—	—		
				2023	—	—	—		
				2022	—	—	—		
事業④			2024	—	—	—			
			2023	—	—	—			
			2022	—	—	—			
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—	
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—	
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—	
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—	
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—	
					園児・児童・生徒数	—	—	—	
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	行政コスト/面積(円)	37,180	35,378	35,412	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示								

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)

建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→

※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)

利用状況等による評価→

↑利用状況、前年収支比率等による評価 ← 前年収支比率、施設1人当たりの市食単価等による評価

【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】  
 A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い  
 B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある  
 C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある  
 D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある

【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】  
 E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い  
 F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある  
 G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある  
 H:利用状況、財務状況全てに課題がある

**施設に関する課題等(ハード面から)**

課題	・平成26(2014)年度の施設改修工事により更新されたが、建物及び設備(厨房機器、給排水設備等)の経年劣化が進行しており、計画的な更新、修繕の必要性が高まっている。 ・面積的に狭隘な部分がある。
対応策	・日常点検や定期点検により、建物・設備の状況を把握・修繕することで長寿命化を図るとともに、計画的に改修・更新していく。 ・調理・作業動線等を常に精査し、安全で効率的な運営を目指す。

**今後の方針**

見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止	—	—
	民間移管	—	—
	管理主体変更	—	—
	非保有	—	—
	統廃合	—	—
	複合化	—	—
	広域化	—	—

民活導入 調理・配送業務等において導入済み。

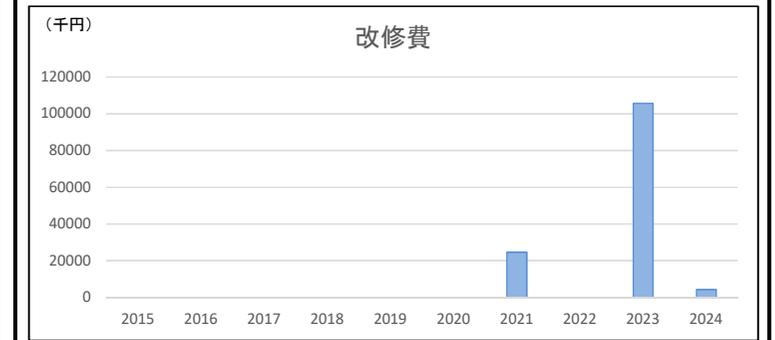
個別方針 安全・安心を第一に考え適切な維持管理を図る。今後児童生徒数の推移を見据えながら、効率的な施設運営について検討する。

リストNo	16-010	施設コード	00239	
利用用途別分類(施設分類)	その他教育施設			
施設名	引佐学校給食センター			
所在(町名・番地)	浜名区引佐町横尾538-1			
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設	
主管課	学校教育部健康安全課			
所管課	学校教育部健康安全課			
設置根拠(法)	地方教育行政の組織及び運営に関する法律、学校給食法			
条例	浜松市立学校給食センター条例			
設置目的	地方教育行政の組織及び運営に関する法律30条の規定に基づき、市立の学校において実施する学校給食の業務を一括して処理するため設置するもの			
主な利用者	栄養士、調理・配送業務受託業者			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	—			
土地情報	土地面積	2,517.58 m <sup>2</sup>	総延床面積	1,830.78 m <sup>2</sup>
	うち所有面積	2,517.58 m <sup>2</sup>	構造(主要建物)	鉄骨造
	うち借地面積	0.00 m <sup>2</sup>	地上階数(主要建物)	2
立地適正化計画	代表地目(現況地目)	学校用地	耐震性能(Ia値)(主要建物)	新
	用途地域	市街化調整区域	耐震工事(主要建物)	-
	誘導施設		建築年月日(主要建物)	2005/3/14
防災情報	土砂災害警戒区域※		経過年数(主要建物)	20
	浸水エリアの場合の浸水深		身障者用駐車場	-
	洪水ハザードマップ※	0.5m～1m	車イスでの施設利用	-
	南海トラフ巨大地震津波※		エレベーター	-
特記事項	緊急避難場所		多機能トイレ	-
	避難所		太陽光発電	
※浜松市防災マップを基に表示。洪水ハザードマップの浸水深は想定最大規模を記載。				



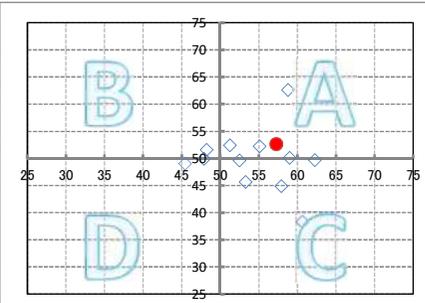
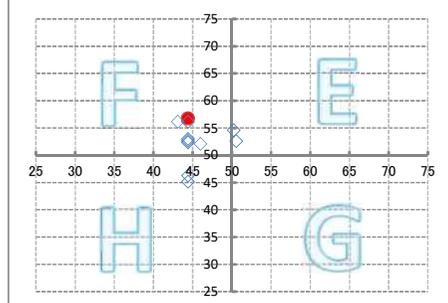
項目		2024	2023	2022
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	32	13	13
	収入計(A)	32	13	13
支出(千円)	人件費	9,800	9,800	9,800
	物件費(委託料)	8,447	6,317	6,766
	物件費(光熱水費)	16,234	18,570	19,944
	物件費(借地利)	0	0	0
支出計(B)		36,341	37,971	37,977
行政コスト(B-A)		36,309	37,958	37,964
収支前年比		95.66	99.98	-119.36
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		4,415	4,341	4,341
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	12,642	4,937	0	
財源	区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
	設置事業費	713,653	—	713,653
	国・県	109,482	—	109,482
	寄付金	—	—	—
その他	—	—	—	
市債	209,200	—	209,200	
一般財源	394,971	—	394,971	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2024	ガスバルク貯槽更新工事	4,356			
	2023	空調設備更新工事	105,600			
	2021	ボイラー更新工事	24,625			



近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
15-139	引佐南部中学校	生活	0.1
05-017	引佐総合体育館	地域	0.1
14-069	引佐第1分団横尾	コミュニティ	0.2
04-030	横尾歌舞伎伝承館 開明座(旧東四村農村コミュニティセンター)	コミュニティ	0.3
04-022	浜松市地域遺産センター	地域	0.7
01-018	引佐支所	地域	0.8
08-019	引佐保育園	生活	0.9
06-015	引佐図書館	地域	0.9

基本情報	リストNo	16-010	施設コード	00239	主管課	学校教育部健康安全課			
	施設名	引佐学校給食センター			所管課	学校教育部健康安全課			
	複合施設								
施設運営分析	関連政策名	安全・安心に学べるより良い教育環境の整備							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		地方教育行政の組織及び運営に関する法律30条の規定に基づき、市立の学校において実施する学校給食の業務を一括して処理するため設置するもの							
		主な業務内容	学校給食調理・配送業務						
		主な利用者	栄養士、調理・配送業務受託業者						
		設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		受配校の児童・生徒数が減少傾向にある。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		園児、児童、生徒の減少に伴う、給食喫食数の減少と施設の老朽化に伴う更新						
	特記事項		—						
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		—		2024	0	0	0		
		—		2023	0	0	0		
		—		2022	—	—	—		
		—		2024	0	0	0		
事業②		—		2023	0	0	0		
		—		2022	—	—	—		
		—		2024	0	0	0		
事業③		—		2023	0	0	0		
		—		2022	—	—	—		
		—		2024	0	0	0		
事業④		—		2023	0	0	0		
		—		2022	—	—	—		
	—		2024	0	0	0			
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—	
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—	
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—	
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—	
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—	
					園児・児童・生徒数	—	—	—	
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	行政コスト/面積(円)	19,833	20,733	20,737	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示								

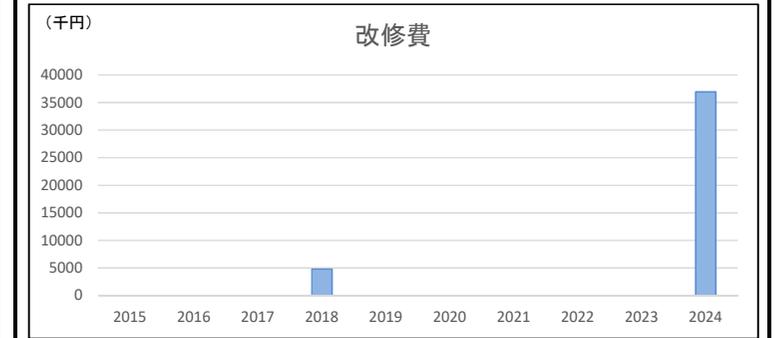
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)	
			
建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→		利用状況等による評価→	
※50が評価の平均で、●が当施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。			
【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】		【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】	
A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い		E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い	
B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある		F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある	
C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある		G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある	
D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある		H:利用状況、財務状況全てに課題がある	
施設に関する課題等(ハード面から)			
課題	平成17(2005)年に開設後、建物及び設備(厨房機器、給排水設備等)の老朽化が進行しており、計画的な更新、修繕の必要性や、突発的な故障や不具合が生じる可能性が高まっている。		
対応策	日常点検や定期点検により、建物・設備の状況を把握・修繕することで長寿命化を図るとともに、計画的に改修・更新していく。		
今後の方針			
見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止	—	—
	民間移管	—	—
	管理主体変更	—	—
	非保有	—	—
	統廃合	—	—
複合化	—	—	
広域化	—	—	
民活導入	調理・配送業務等において導入済み。		
個別方針	安全・安心を第一に考え適切な維持管理を図る。今後児童生徒数の推移を見据えながら、効率的な施設運営について検討する。		

リストNo	16-011	施設コード	02385		
利用用途別分類(施設分類)	その他教育施設				
施設名	浜北学校給食センター				
所在(町名・番地)	浜南区寺島2815-1				
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域			
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設		
主管課	学校教育部健康安全課				
所管課	学校教育部健康安全課				
設置根拠(法)	地方教育行政の組織及び運営に関する法律、学校給食法				
条例	浜松市立学校給食センター条例				
設置目的	地方教育行政の組織及び運営に関する法律30条の規定に基づき、市立の学校において実施する学校給食の業務を一括して処理するため設置するもの				
主な利用者	栄養士、調理・配送業務受託業者				
運営形態	直営				
指定管理または包括管理委託等の期間	～				
管理者名	—				
開館時間	—				
土地情報	土地面積	8,485.99 m <sup>2</sup>	総延床面積	3,619.76 m <sup>2</sup>	
	うち所有面積	8,485.99 m <sup>2</sup>	構造(主要建物)	鉄骨造	
	うち借地面積	0.00 m <sup>2</sup>	地上階数(主要建物)	2	
立地適正化計画	代表地目(現況地目)	宅地	建物情報	耐震性能(Ia値)(主要建物)	新
	用途地域	市街化調整区域	耐震工事(主要建物)	-	
	誘導施設		建築年月日(主要建物)	2006/7/1	
防災情報	土砂災害警戒区域※		経過年数(主要建物)	18	
	浸水エリアの場合の浸水深		身障者用駐車場	-	
	洪水ハザードマップ※	1m～3m	車イスでの施設利用	-	
	南海トラフ巨大地震津波※		エレベーター	-	
特記事項	緊急避難場所		多機能トイレ	-	
	避難所		太陽光発電		
※浜松市防災マップを基に表示。洪水ハザードマップの浸水深は想定最大規模を記載。					



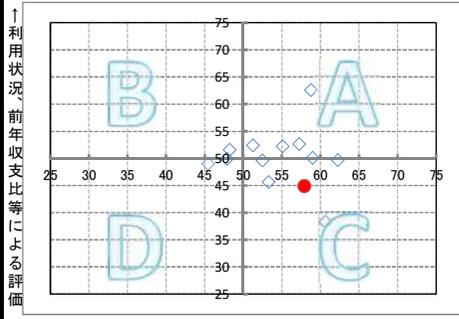
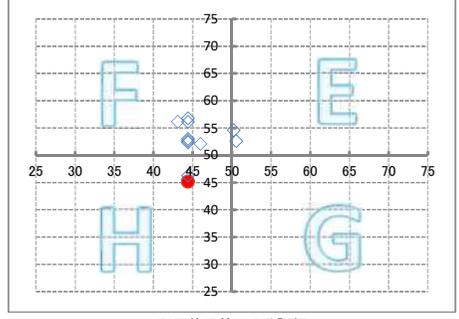
項目	2024	2023	2022	
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	8	8	8
	収入計(A)	8	8	8
支出(千円)	人件費	14,000	14,000	14,000
	物件費(委託料)	17,142	17,592	18,284
	維持補修費(修繕費)	40,687	3,085	10,858
	物件費(光熱水費)	71,810	69,873	79,497
	物件費(借地利)	0	0	0
	支出計(B)	143,639	104,550	122,639
	行政コスト(B-A)	143,631	104,542	122,631
	収支前年比	137.39	85.25	-27.44
	(参考)指定管理料	0	0	0
	(参考)減価償却費	51,825	51,825	51,825
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	209,909	642,377	0	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
	設置事業費	1,759,436	122,460	1,881,896
財源	国・県	124,587	—	124,587
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	1,377,300	122,460	1,499,760
	一般財源	257,549	—	257,549

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2024	蒸気配管改修工事	36,924			
2018	屋根防水工事	4,795			
2013	BEMS導入工事	4,997			
2006	建設事業 給排水衛生設備工事	756,000			
2006	建設事業 建築主体工事	445,200			
2006	建設事業 空調設備工事	158,025			
2006	建設事業 電気設備工事	147,525			
2006	建設事業 排水処理施設工事	46,095			
2006	建設事業 外構工事	38,745			



近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
13-054	高畑団地	地域	0.2
07-069	秋桜第二・第三児童クラブ	生活	0.4
14-081	北浜分団	コミュニティ	0.4
15-062	北浜小学校	生活	0.4
18-006	浜北防災センター	地域	0.5
03-054	北浜南部協働センター	生活	0.6
05-020	浜北体育館	地域	0.6
07-068	北浜南たんぼぼクラブ	生活	0.7

基本情報	リストNo	16-011	施設コード	02385	主管課	学校教育部健康安全課		
	施設名	浜北学校給食センター			所管課	学校教育部健康安全課		
施設運営分析	複合施設							
	関連政策名	安全・安心に学べるより良い教育環境の整備						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		地方教育行政の組織及び運営に関する法律30条の規定に基づき、市立の学校において実施する学校給食の業務を一括して処理するため設置するもの						
		主な業務内容	学校給食調理・配送業務					
		主な利用者	栄養士、調理・配送業務受託業者					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		受配校の一部の学校の児童・生徒数が増加傾向にあったが、昨今の少子化により逆に減少傾向にある。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		児童・生徒数が少子化傾向により減少に転換していく。					
	特記事項		—					
主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況		
	事業①	—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
	事業②	—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
	事業③	—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
	事業④	—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
—			2024	0	0	0		
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—
					園児・児童・生徒数	—	—	—
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	行政コスト/面積(円)	39,680	28,881	33,878	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示							

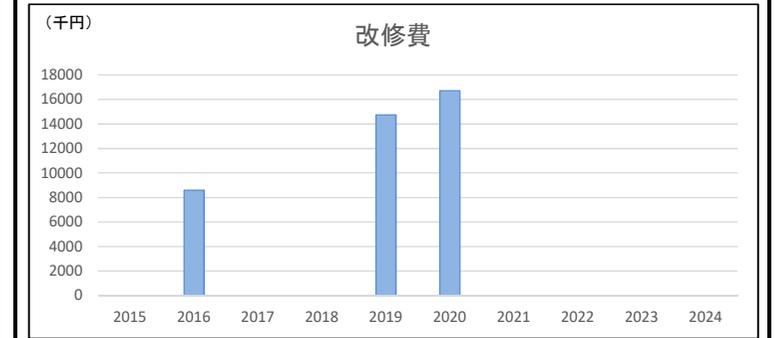
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)	
			
<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>		<p>利用状況等による評価→</p>	
【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】		【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】	
A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い		E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い	
B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある		F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある	
C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある		G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある	
D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある		H:利用状況、財務状況全てに課題がある	
施設に関する課題等(ハード面から)			
課題	平成18(2006)年に開設後、建物及び設備(厨房機器、給排水設備等)の老朽化が進行しており、計画的な更新、修繕の必要性や、突発的な故障や不具合が生じる可能性が高まっている。		
対応策	日常点検や定期点検により、建物・設備の状況を把握・修繕することで長寿命化を図るとともに、計画的に改修・更新していく。		
今後の方針			
見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止	—	—
	民間移管	—	—
	管理主体変更	—	—
	非保有	—	—
	統廃合	—	—
	複合化	—	—
	広域化	—	—
民活導入	調理・配送業務は導入済み。		
個別方針	安全・安心を第一に考え適切な維持管理を図る。今後児童生徒数の推移を見据えながら、効率的な施設運営について検討する。		

リストNo	16-012	施設コード	04364	
利用用途別分類(施設分類)	その他教育施設			
施設名	天竜学校給食センター			
所在(町名・番地)	天竜区船明3057-10			
利用者の圏域別分類等	地域	中山間地域		
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設	
主管課	学校教育部健康安全課			
所管課	学校教育部健康安全課			
設置根拠(法)	地方教育行政の組織及び運営に関する法律、学校給食法			
条例	浜松市立学校給食センター条例			
設置目的	地方教育行政の組織及び運営に関する法律30条の規定に基づき、市立の学校において実施する学校給食の業務を一括して処理するため設置するもの			
主な利用者	栄養士、調理・配送業務受託業者			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	—			
土地情報	土地面積	3,927.06 m <sup>2</sup>	総延床面積	1,256.56 m <sup>2</sup>
	うち所有面積	3,927.06 m <sup>2</sup>	構造(主要建物)	鉄骨造
	うち借地面積	0.00 m <sup>2</sup>	地上階数(主要建物)	1
立地適正化計画	代表地目(現況地目)	宅地	耐震性能(Ia値)(主要建物)	新
	用途地域	工業地域	耐震工事(主要建物)	-
	誘導施設	都市機能誘導区域	建築年月日(主要建物)	2009/7/17
防災情報	土砂災害警戒区域※		経過年数(主要建物)	15
	浸水エリアの場合の浸水深		身障者用駐車場	-
	洪水ハザードマップ※		車イスでの施設利用	-
	南海トラフ巨大地震津波※		エレベーター	-
特記事項	緊急避難場所		多機能トイレ	-
	避難所		太陽光発電	
※浜松市防災マップを基に表示。洪水ハザードマップの浸水深は想定最大規模を記載。				



項目	2024	2023	2022	
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	8	8	8
	収入計(A)	8	8	8
支出(千円)	人件費	9,800	9,800	9,800
	物件費(委託料)	9,129	8,017	7,397
	維持補修費(修繕費)	7,080	6,761	4,444
	物件費(光熱水費)	21,971	21,835	22,261
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	47,980	46,413	43,902
	行政コスト(B-A)	47,972	46,405	43,894
	収支前年比	103.38	105.72	-99.27
	(参考)指定管理料	0	0	0
	(参考)減価償却費	8,522	8,522	8,522
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	69,156	119,664	0	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
	設置事業費	730,942	98,800	829,742
財源	国・県	68,360	—	68,360
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	605,000	98,800	703,800
	一般財源	57,582	—	57,582

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2020	蒸気配管改修工事	16,711			
2019	下水道切替工事	14,740			
2016	地下ビット内蒸気配管改修工事	8,586			
2013	BEMS導入工事	33,779			
2009	改築工事(建築工事)	259,831			
2009	建設工事(厨房設備工事)	150,675			
2009	建設工事(給排水設備工事)	142,275			
2009	建設工事(空調設備工事)	87,150			
2009	改築工事(電気設備工事)	63,361			



近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
14-094	天竜第5分団船明下	コミュニティ	0.5
05-027	船明ダム運動公園(体育施設)	地域	0.6
14-095	天竜第5分団船明上	コミュニティ	0.8
15-060	光明小学校	生活	1.2
08-058	光明幼稚園	生活	1.2
05-042	天竜庭球場トイレ	小規模等	1.3
04-025	内山真龍資料館	地域	1.3
03-061	光明ふれあいセンター	生活	1.3

基本情報	リストNo	16-012	施設コード	04364	主管課	学校教育部健康安全課			
	施設名	天竜学校給食センター			所管課	学校教育部健康安全課			
施設運営分析	複合施設								
	関連政策名	安全・安心に学べるより良い教育環境の整備							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		地方教育行政の組織及び運営に関する法律30条の規定に基づき、市立の学校において実施する学校給食の業務を一括して処理するため設置するもの							
		主な業務内容	学校給食調理・配送業務						
		主な利用者	栄養士、調理・配送業務受託業者						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	平成26年度から佐久間地区の1園、2校の調理・配送が増加した。						
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	児童・生徒数が減少傾向にあり、調理食数も減少が予測される。						
		特記事項	配食校・園数が16と多く、かつ広範囲に立地している。						
主な事業	事業名・開催回数(2024)				年度	事業費(千円)	実施状況		
	事業①				2024	0	0	0	
					2023	0	0	0	
					2022	—	—	—	
					2024	0	0	0	
	事業②				2023	0	0	0	
					2022	—	—	—	
					2024	0	0	0	
	事業③				2023	0	0	0	
					2022	—	—	—	
					2024	0	0	0	
	事業④				2023	0	0	0	
					2022	—	—	—	
			2024	0	0	0			
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—	
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—	
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—	
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—	
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—	
					園児・児童・生徒数	—	—	—	
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	行政コスト/面積(円)	38,177	36,930	34,932	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示								

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)

建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→

※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)

利用状況等による評価→

↑利用状況、前年収支比率等による評価 ←前年収支比率、施設1あたりの市食担割合等による評価

【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】  
 A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い  
 B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある  
 C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある  
 D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある

【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】  
 E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い  
 F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある  
 G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある  
 H:利用状況、財務状況全てに課題がある

施設に関する課題等(ハード面から)

課題	・平成21(2009)年に開設後、建物及び設備(厨房機器、給排水設備等)の老朽化が進行しており、計画的な更新、修繕の必要性や、突発的な故障や不具合が生じる可能性が高まっている。 ・建設地が池沼の埋立地であり、敷地全体の地盤沈下からアスファルト舗装部分に亀裂や沈下が生じている。
対応策	・日常点検や定期点検により、建物・設備の状況を把握・修繕することで長寿命化を図るとともに、計画的に改修・更新していく。 ・地盤沈下は沈静化の傾向が見られるため、引き続き観察していく。

今後の方針

見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止	—	
	民間移管	—	
	管理主体変更	—	
	非保有	—	
	統廃合	—	統合する学校給食センター及び配食校との調整が必要
	複合化	—	
	広域化	—	

民活導入 調理・配送業務等において導入済み。

個別方針

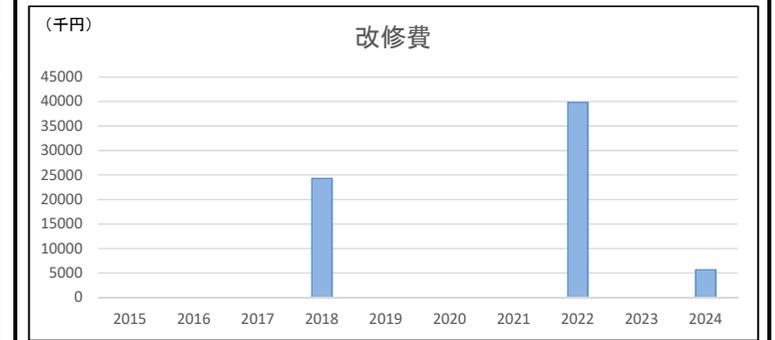
安全・安心を第一に考え適切な維持管理を図る。今後児童生徒数の推移を見据えながら、効率的な施設運営について検討する。

リストNo	16-013	施設コード	01205		
利用用途別分類(施設分類)	その他教育施設				
施設名	春野学校給食センター				
所在(町名・番地)	天竜区春野町気田380-13				
利用者の圏域別分類等	地域	中山間地域			
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設		
主管課	学校教育部健康安全課				
所管課	学校教育部健康安全課				
設置根拠(法)	地方教育行政の組織及び運営に関する法律、学校給食法				
条例	浜松市立学校給食センター条例				
設置目的	地方教育行政の組織及び運営に関する法律30条の規定に基づき、市立の学校において実施する学校給食の業務を一括して処理するため設置するもの				
主な利用者	栄養士、調理・配送業務受託業者				
運営形態	直営				
指定管理または包括管理委託等の期間	～				
管理者名	—				
開館時間	—				
土地情報	土地面積	1,251.28 m <sup>2</sup>	総延床面積	667.43 m <sup>2</sup>	
	うち所有面積	1,251.28 m <sup>2</sup>	構造(主要建物)	鉄骨造	
	うち借地面積	0.00 m <sup>2</sup>	地上階数(主要建物)	1	
立地適正化計画	代表地目(現況地目)	宅地	建物情報	耐震性能(I <sub>6</sub> 値)(主要建物)	新
	用途地域	都市計画区域外		耐震工事(主要建物)	-
	誘導施設	都市機能誘導区域		建築年月日(主要建物)	1998/6/24
防災情報	土砂災害警戒区域※		UD化情報	経過年数(主要建物)	26
	浸水エリアの場合の浸水深			身障者用駐車場	-
	洪水ハザードマップ※	3m～5m		車イスでの施設利用	-
	南海トラフ巨大地震津波※			エレベーター	-
脱炭素	緊急避難場所		脱炭素	多機能トイレ	-
	避難所			太陽光発電	
ZEBの種類				ZEBの種類	
	※浜松市防災マップを基に表示。洪水ハザードマップの浸水深は想定最大規模を記載。				



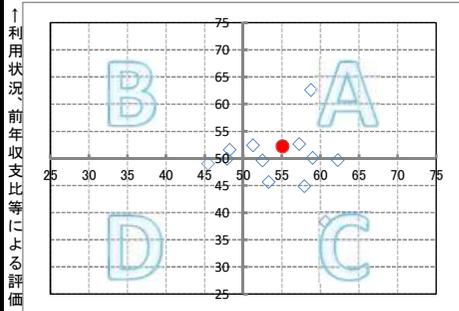
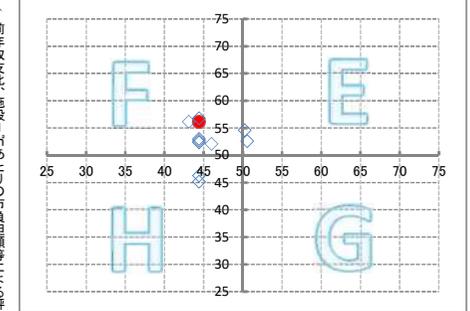
項目		2024	2023	2022
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	9	9	9
	収入計(A)	9	9	9
支出(千円)	人件費	7,000	7,000	7,000
	物件費(委託料)	3,880	3,165	2,395
	維持補修費(修繕費)	0	1,968	1,447
	物件費(光熱水費)	8,637	8,665	9,179
	物件費(借地利)	0	0	0
支出計(B)	19,517	20,798	20,021	
行政コスト(B-A)	19,508	20,789	20,012	
収支前年比	93.84	103.88	239.95	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	4,972	4,972	4,972	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	11,493	21,396	0	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
	設置事業費	318,872	17,500	336,372
財源	国・県	18,173	—	18,173
	寄付金	—	—	—
	その他	40,000	—	40,000
	市債	116,600	—	116,600
	一般財源	144,099	17,500	161,599

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2024	グリストラップ更新工事	5,676			
2022	空調設備更新工事	39,832			
2018	外壁改修工事	5,626			
2018	屋根防水工事	4,910			
2018	ボイラー更新工事	13,824			



近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
04-040	旧王子製紙製品倉庫	文化財	0.0
15-131	春野中学校	生活	0.0
14-119	春野第3分団気田	コミュニティ	0.2
15-073	気田小学校	生活	0.2
08-062	気田幼稚園	生活	0.2
13-068	気田団地	地域	0.2
02-002	気田地区教職員住宅	地域	0.2
25-022	旧気多簡易水道	—	0.3

基本情報	リストNo	16-013	施設コード	01205	主管課	学校教育部健康安全課			
	施設名	春野学校給食センター			所管課	学校教育部健康安全課			
	複合施設								
施設運営分析	関連政策名	安全・安心に学べるより良い教育環境の整備							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		地方教育行政の組織及び運営に関する法律30条の規定に基づき、市立の学校において実施する学校給食の業務を一括して処理するため設置するもの							
		主な業務内容	学校給食調理・配送業務						
		主な利用者	栄養士、調理・配送業務受託業者						
		設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		受配校の児童・生徒数が減少傾向にある。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		児童・生徒数が減少傾向にあり、調理食数も減少が予測される。						
	特記事項		—						
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		—		2024	0	0	0		
		—		2023	—	—	—		
		—		2022	—	—	—		
事業②		—		2024	0	0	0		
		—		2023	—	—	—		
		—		2022	—	—	—		
事業③		—		2024	0	0	0		
		—		2023	—	—	—		
		—		2022	—	—	—		
事業④	—		2024	0	0	0			
	—		2023	—	—	—			
	—		2022	—	—	—			
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—	
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—	
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—	
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—	
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—	
					園児・児童・生徒数	—	—	—	
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	行政コスト/面積(円)	29,229	31,148	29,984	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示								

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)	
 <p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>		 <p>利用状況等による評価→</p>	
【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】		【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】	
A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い		E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い	
B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある		F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある	
C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある		G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある	
D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある		H:利用状況、財務状況全てに課題がある	
施設に関する課題等(ハード面から)			
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成10(1998)年に開設後、建物及び設備(厨房機器、給排水設備等)の老朽化が進行しており、計画的な更新、修繕の必要性や、突発的な故障や不具合が生じる可能性が高まっている。</li> <li>児童生徒の減少により稼働率が低下し、特に光熱水費が非効率な状態となっている。</li> </ul>		
対応策	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常点検や定期点検により、建物・設備の状況を把握・修繕することで長寿命化を図るとともに、計画的に改修・更新していく。</li> <li>電気使用量の監視装置を設置し、使用状況を管理するとともに、調理業務受託者と協力し効率的な運営に努める。</li> </ul>		
今後の方針			
見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止	—	—
	民間移管	—	—
	管理主体変更	—	—
	非保有	—	—
	統廃合	○	統合する学校給食センター及び配食校との調整が必要
複合化	—	—	
広域化	—	—	
民活導入	調理・配送業務等において導入済み。		
個別方針	安全・安心を第一に考え適切な維持管理を図る。今後児童生徒数の推移を見据えながら、効率的な施設運営について検討する。		